

PDF比較検版サーバー

BeforeAfter 【ビフォーアフター】

ユーザーマニュアル

目次

p3	・	CD-ROM内容物一覧
p4	・	インストール作業の流れ
p5	・	インストール作業①：SystemUserPwdの実行
p6	・	インストール作業②：BeforeAfter_Initialの実行
p7	・	インストール作業③：BeforeAfter_Confの実行
p10	・	比較データの投入方法①
p12	・	比較データの投入方法②：サーバ版の場合
p13	・	比較データの投入方法③：個人使用版の場合
p14	・	処理結果① 比較PDF・他
p15	・	処理結果② ログ
p16	・	エラー時のメッセージと対処法
p17	・	処理結果の自動消去（サーバ版のみ）
p18	・	処理状況の表示方法：コンソール起動
p19	・	Windowsネットワークの接続方法（サーバ版のみ）
p20	・	こんな場合の対応方法Q&A
p21	・	OSXのユーザ名とパスワード設定について
p22	・	改訂履歴

CD-ROM内容物一覧

端末環境のご確認

BeforeAfterのインストール推奨バージョンは
インテルMac OSX10.5～10.7となっております。
このMacについて等で、インストール端末のOSバージョンを確認ください。



◎BeforeAfterマニュアル（本PDF）

◎dmgファイル

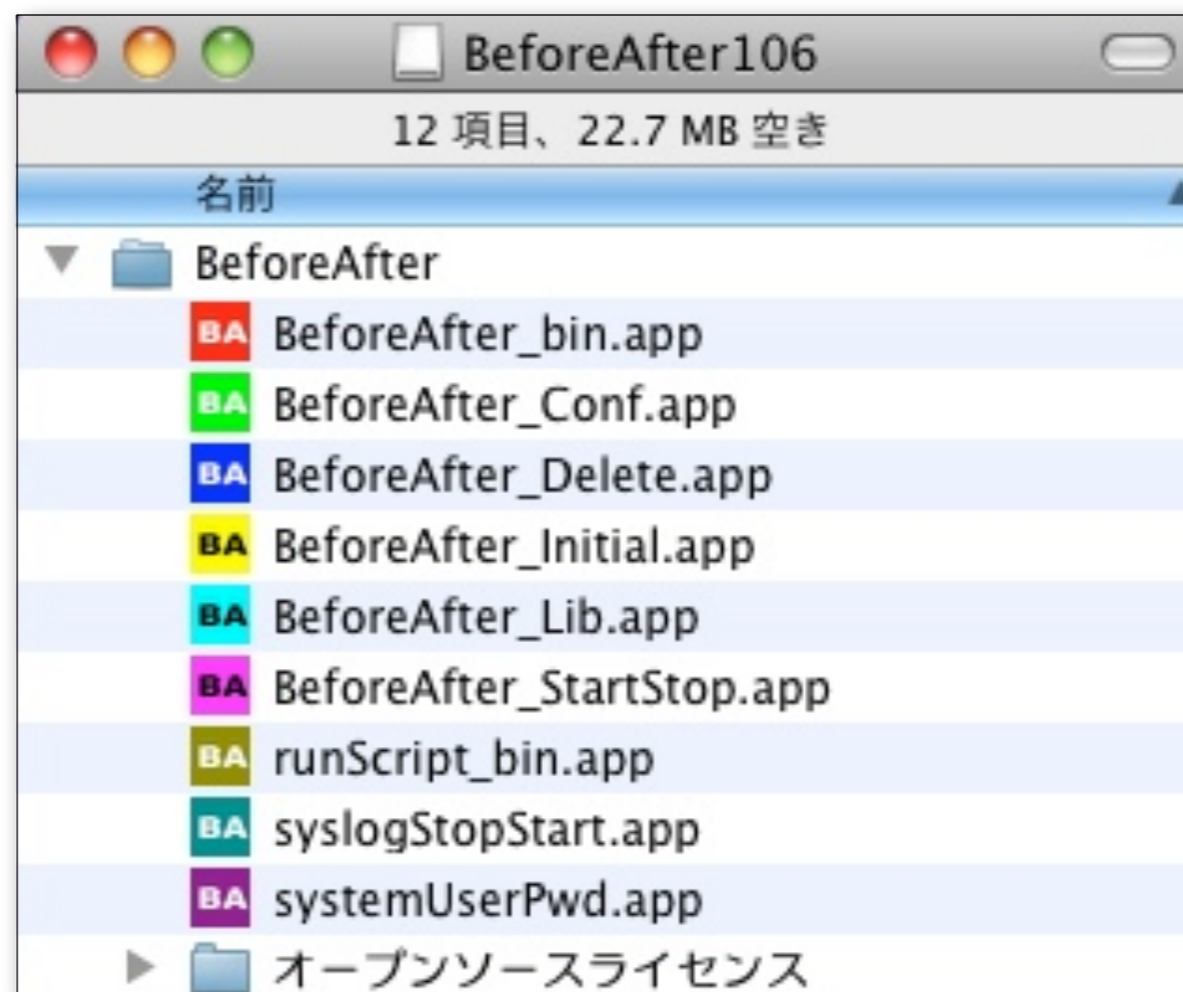
BeforeAfterフォルダ

- >BeforeAfter_bin.app
- >BeforeAfter_Conf.app
- >BeforeAfter_Delete.app
- >BeforeAfter_Initial.app
- >BeforeAfter_Lib.app
- >BeforeAfter_StartStop.app
- >runScript_bin.app
- >syslogStopStart.app
- >systemUserPwd.app

オープンソースライセンスフォルダ

ドキュメントフォルダ

◎最初にお読みください



※マニュアル内の画像はOSX10.6ですが同梱内容、ファイル数は同じです

インストール作業の流れ

- ①、②については、最初のインストール時のみ、設定して頂きます。
- ③はお客様の差分出力希望値の設定となり、何度でも設定変更可能です。

「BeforeAfter」フォルダを「アプリケーション」フォルダの直下にコピーしてください。フォルダ名称は変更しないでください。

BA ①SystemUserPwd の実行 (→P5)

設定内容：ユーザID…… (弊社からお知らせしたお客様番号： Pxxxxxxxxxx)
 シリアルNo…… (弊社からお知らせしたシリアル番号： BAxxxxx)
 Macの管理者アカウント名…… (お客様のインストール端末のもの) ※1
 管理者アカウントパスワード…… (お客様のインストール端末のもの) ※1

BA ②BeforeAfter_Initial の実行 (→P6)

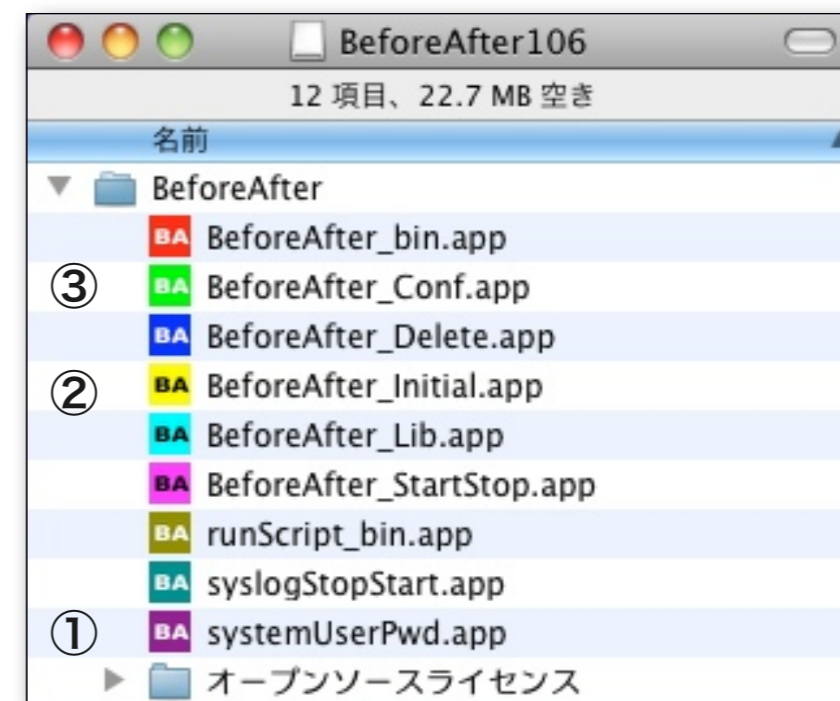
設定内容：PDF投入フォルダ (BAD、END、DELETE、HOT) の自動作成
 plistの自動作成 ※2
 共有フォルダの設定 ※2
 OSXの再起動

BA ③BeforeAfter_Conf の実行 (→P7~9)

設定内容：PDF比較の差分の強調色、解像度、アンチエイリアスなどの設定
 p22. OSXのユーザ名とパスワード設定について を参照ください。

※1 空欄だとエラーとなります。
 アップルメニュー>システム環境設定>アカウントで必ず設定してください
 (p22. OSXのユーザ名とパスワード設定について を参照ください)

※2 個人使用版については設定は行いません



インストール作業①：SystemUserPwdの実行

BA SystemUserPwdをダブルクリックします。

下記のダイアログ「ユーザID」「シリアルNo」、「Macのログインユーザ（管理者）」、「ログインユーザ（管理者）パスワード」が出ますので入力してください。

1. ユーザIDとシリアル番号を登録します

弊社から通知した、ユーザID、シリアルNoを入力します。

※**デモ版**はBADEMO、BAdemo

※**評価版**はBAHYOKA、BAhyoka がセット済みです

2. OSXのユーザ名とパスワードを登録します

Macのログインユーザ（管理者）名と

ログインユーザ（管理者）パスワードを入力します。

※空欄だと動作エラーの原因となります。

アップルメニュー>システム環境設定>アカウント
で事前に設定した上でご入力ください

(p22. OSXのユーザ名とパスワード設定について

を参照ください)

3. 設定内容を確認します

登録内容を確認してください。

パスワードは暗号化して保存しています。

確認するには、パスワード表示ボタンを押してください。

※**デモ版**の場合、ユーザID、シリアルNoがそれぞれBADEMO、BAdemoと表示されます。
利用回数が30回までの制限があります。

※**評価版**の場合、ユーザID、シリアルNoがそれぞれBAHYOKA、BAhyokaと表示されます。
評価期間まで利用出来ます。

BeforeAfterのユーザIDを入力してください。
(デモ版、評価版は設定済みですのでOKボタンを押してください。)

Cancel OK

シリアルNo.を半角英数字で入力してください。
(デモ版、評価版は設定済みですのでOKボタンを押してください。)

Cancel OK

※必須入力項目
Macのログインユーザ（管理者）名を入力して下さい

Cancel OK

※必須入力項目
ログインユーザ（管理者）パスワードを入力して下さい

Cancel OK

この設定でよろしいですか？

ユーザID
P0000000001

シリアルNo.
BAxxxx

ログインユーザ（管理者）名
admin

管理者パスワード（暗号化しています）
U2FsdGVkX1/17LaBUV31bLiaajw/q8uaW3/
txOrxPI0=

パスワード表示 Cancel OK

設定しました。

OK

🌀 インストール作業②： BeforeAfter_Initial の実行

BA BeforeAfter_Initialをダブルクリックします。

下記1. 2.の自動設定を行います。

「設定しました」のダイアログが出て完了します。

1. 共有フォルダを作成しました

BeforeAfterフォルダをユーザのパブリックの中に作成しました。

BeforeAfterの第一階層に、フォルダHOT、END、BADを作成しました。

(このHOTフォルダにデータ投入します)

ENDフォルダの第一階層にDELETEフォルダを作成しました。

※フォルダ名称、構造の変更はしないでください

2. plistを作成しました

ユーザのライブラリフォルダに、LaunchAgentsフォルダを作り、その中に、

com.cte.BeforeAfter.plist

com.cte.BeforeAfter_del.plist を作成しました。

※個人使用版については、plistの作成は行いません

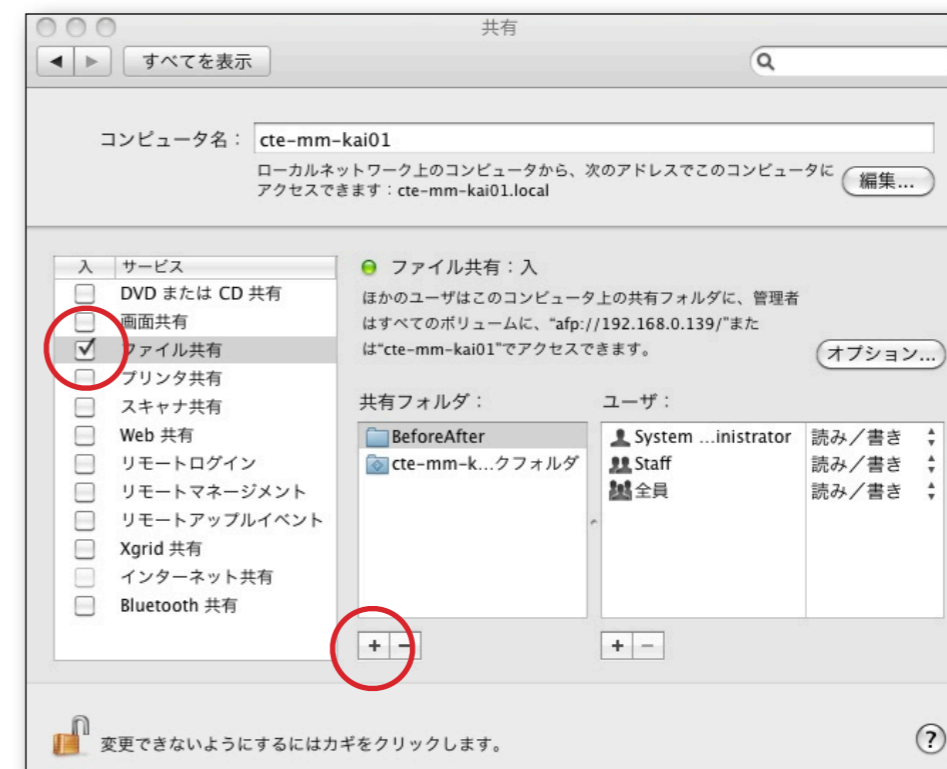
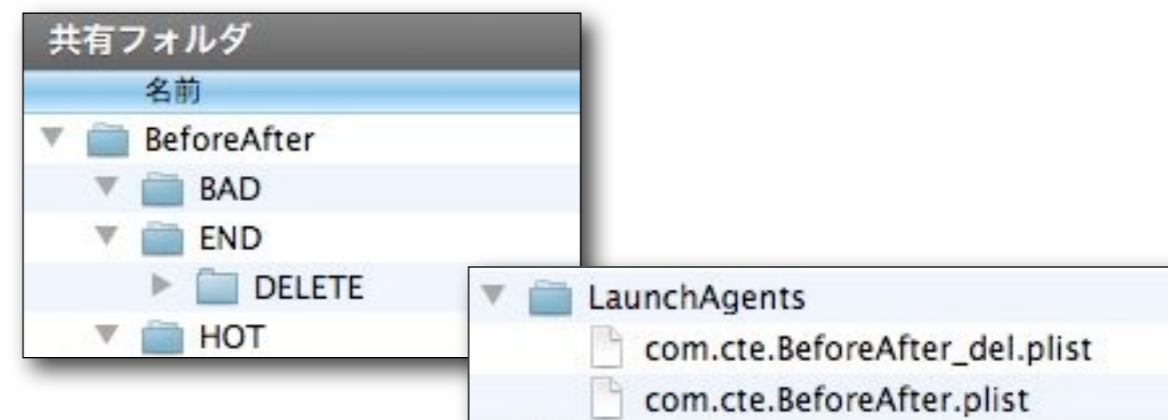
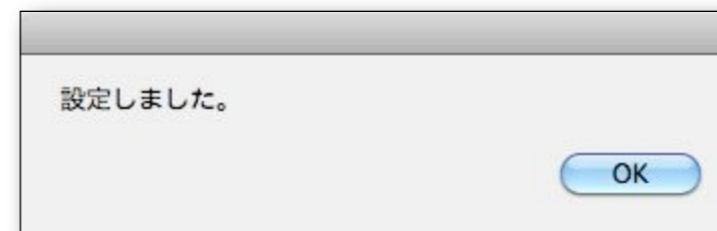
3. システム環境設定>共有 から

上記1.で作成したBeforeAfterフォルダを共有化します。

ファイル共有にチェックを入れ、共有フォルダを追加します。

+ボタンでBeforeAfterフォルダを指定するか、共有フォルダの中に、BeforeAfterフォルダをドラッグ&ドロップします。

※個人使用版については、共有フォルダ設定はしないでください。



4. 上記まで全て完了しましたら、再起動します。

🌀 インストール作業③-1： BeforeAfter_Conf の実行

BA BeforeAfter_Confをダブルクリックします。

PDF比較の差分の強調色、解像度、アンチエイリアスなどの設定していきます。

デフォルト値のままで良い場合は変更の必要はありません。 ※ () 括弧内デフォルト値

①比較PDFをカラーで作成するか、モノクロで作成するか (デフォルト値：カラー)



②カラーの場合、差分カラーを何色にするか (デフォルト値：crimson) 全7色+2パターン



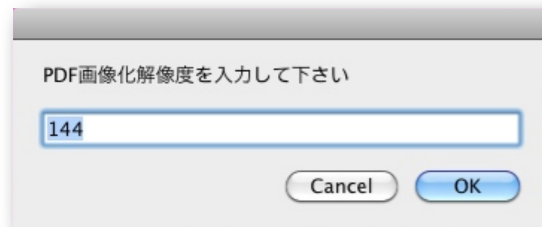
「Custom01」「Custom02」パターンを追加 (差分カラーはCrimson固定)

- ①Custom01 -- 差分を塗りつぶすのではなく、new部分を表示します。
- ②Custom02 -- 差分の無い半調部分の輝度をあげ、より白く表示します。

③ インストール作業③-2 : BeforeAfter_Conf の実行

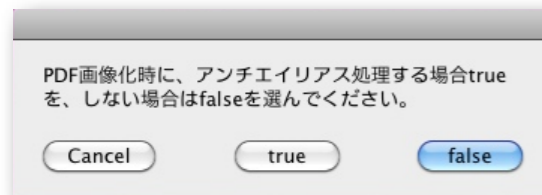
③PDF画像化解像度 (デフォルト値 : 144)

数字を大きくすると精度はあがりますが、処理時間がかかります。



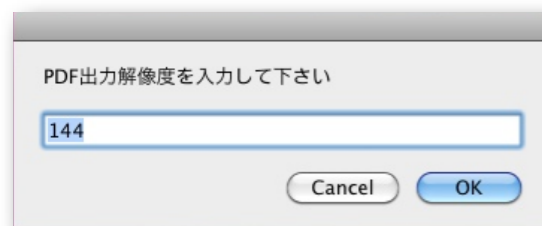
④PDF画像化時、アンチエイリアスを有効にするかしないか

(デフォルト値 : false)



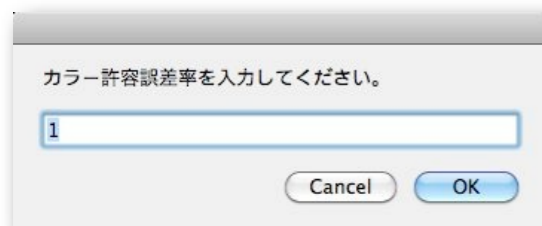
⑤PDF出力解像度 (デフォルト値 : 144)

72がサイズ100%、144は2倍のサイズで出力となります。



⑥カラー許容誤差率 (デフォルト値 : 1)

色の差分がないと判断する色味の%です。0はCyan100%とCyan99%は差分ありとしますが、1にする1%の差分は同一と判定します。



アンチエイリアスをtrueにすると、比較結果の文字は綺麗になります。しかし、アウトラインの処理結果が異なり、下のような差分が出る可能性があります。



③ インストール作業③-3 : BeforeAfter_Conf の実行

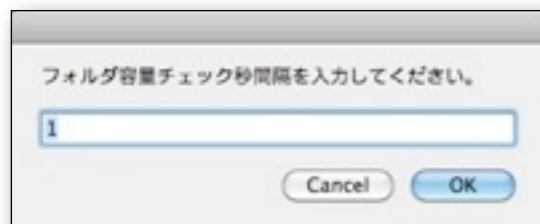
⑦フォルダ容量チェック間隔 (デフォルト値 : 1秒)

データが投入された際、フォルダの容量計算をする秒間隔です。

データ投入が全量なされたかの確認に使用します。

フォルダ容量を5回連続してチェックし、同じならば、データコピーが終わったと判断します。

回線が遅い場合、ギガクラスのサイズが投入される場合は、値を大きくした方が良いと考えます。



⑧コンソール起動 (デフォルト値 : No)

比較作業が始まったとき、処理状況を表示するコンソールを自動的に起動するか選択します。



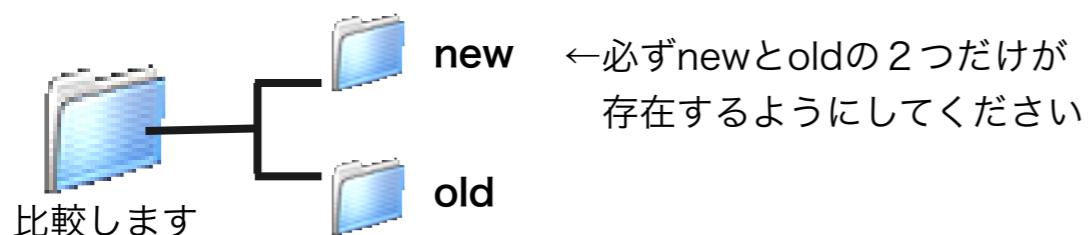
⑨設定確認

①～⑧までの設定を確認します。



比較データの投入方法①-1

①投入するデータは任意のフォルダで、その中にnewとoldの二つのフォルダを作成します。

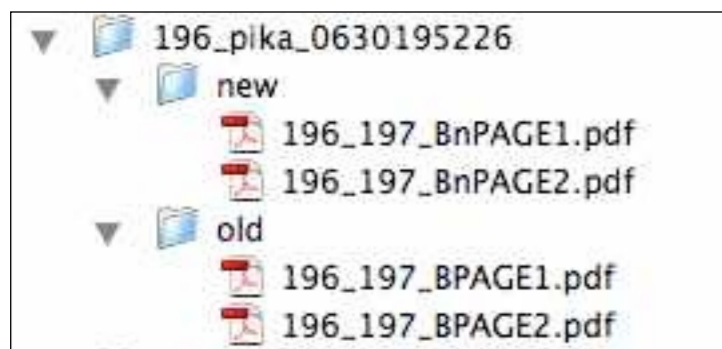


※ファイル名、フォルダ名に以下の文字は使用しないでください
‘アポストロフィ “コーデーションマーク
& アンパサンド <>不等号 |縦バー

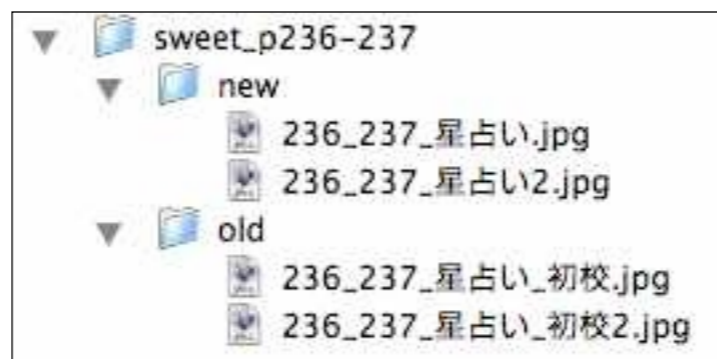


②newとoldの中に、新旧の比較データを同一数入れます。

◎PDFの場合



◎JPGの場合



★new、oldにいれるファイル名と個数は任意です

※マルチページのPDFも処理可能です

※ファイル数は同一にしてください

※データ名は同一でも任意でも構いません。

比較順序はファイルの名称順序で比較します。

アルファベット大文字小文字を区別しますので、Finderの名称順序と異なる点に注意ください。

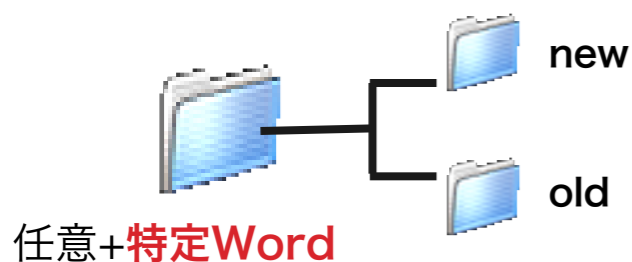
※比較データは、PDF、JPG、PNG、PICT、TIFです。それ以外の型式はエラーとなります

※フォルダ内は同一形式のデータにします。PDFとJPGなど混在するとエラーとなります

★新旧のPDFは同一誌面サイズ、同一出力機から作成されたものでないと、正しい比較は行えません

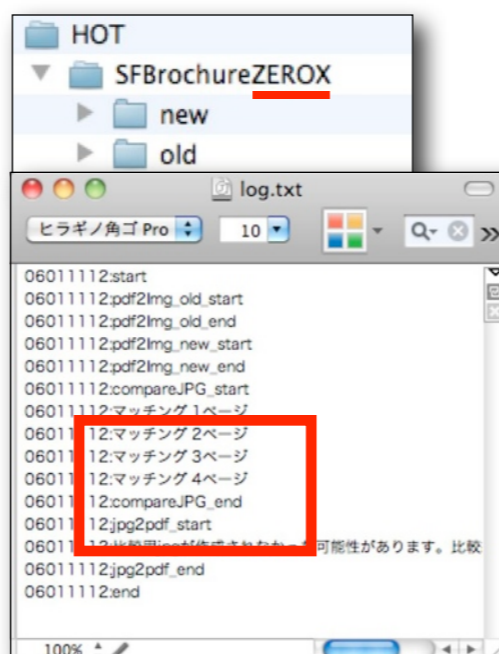
比較データの投入方法①-2

③投入する任意フォルダに特定Wordを入れる事による追加機能



- ①AORI -- 差分結果をブラウザで、アオリをします。
- ②ZEROX -- 差分がないページは、PDF作成しません。ログに差分の有無を記録しています
- ③ZEROX + 数字3桁 -- 比較画像の周囲を数字3桁ピクセル幅で白く塗りつぶした後に②の判定をします
トンボ付きの場合、出力日付が異なり差分ありと判定されるため、その部分を白くするためです。

①+②または①+③の組み合わせも可能（例：AORIZEROX100）



周囲100ピクセル幅を白くして、比較

★100ピクセル=約18mm - 72dpi出力解像度の場合
約9mm - 144dpi出力解像度の場合

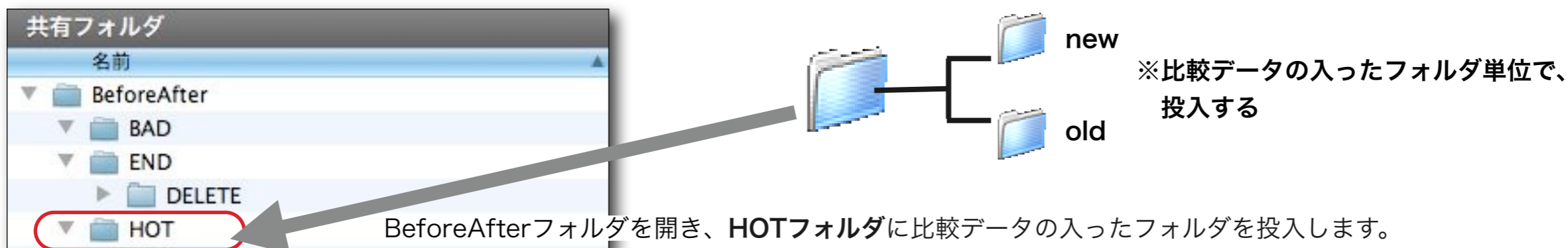
比較データの投入方法②：サーバ版の場合

①サーバへ接続します



1. Finderより、
移動 > ネットワーク >
BeforeAfterが稼働するマシンに接続する
2. ゲストで接続する
3. BeforeAfterフォルダをマウントする

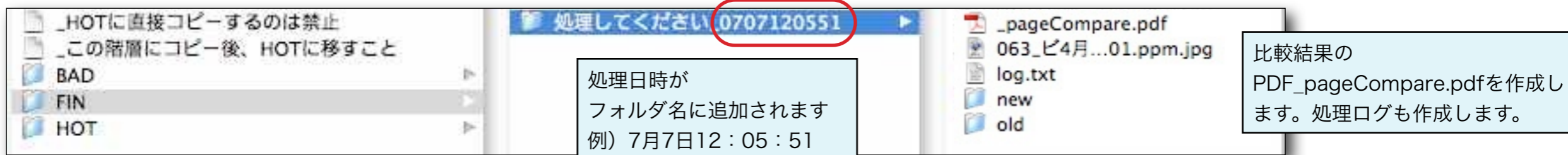
②BeforeAfter > HOTフォルダに比較データのいったフォルダ投入します



BeforeAfterフォルダを開き、HOTフォルダに比較データのいったフォルダを投入します。

③投入後、自動的に処理は始まります

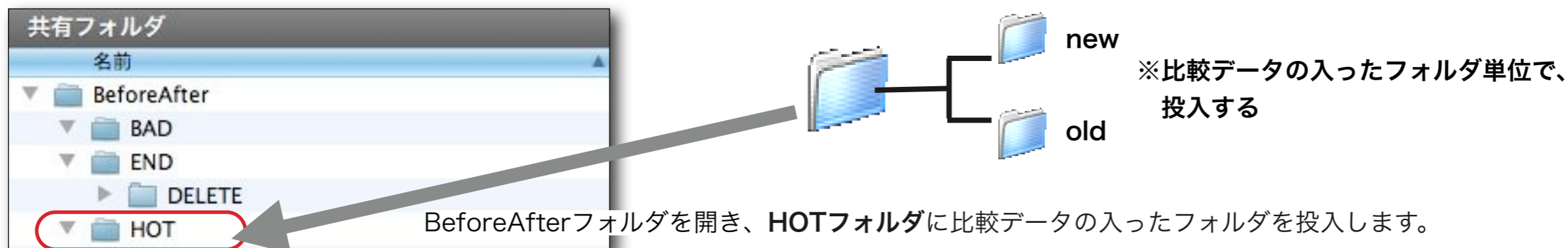
④処理結果 (pdf、log)が作成され、ENDフォルダに移動するので確認します



⑤何らかの理由で処理がエラーとなった場合、BADフォルダに移動するので、エラー内容をlogで確認します

比較データの投入方法③：個人使用版の場合

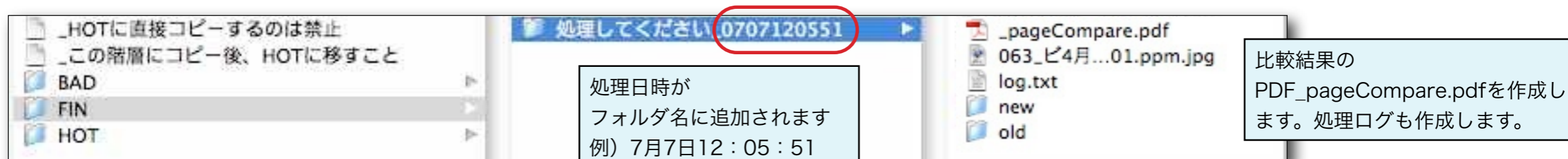
①BeforeAfter > **HOTフォルダ**に比較データのあったフォルダ投入します



②投入後、「BeforeAfter_bin.app」をダブルクリックします。処理が始まります

BA ※個人使用版は自動的に処理が開始しません

③処理結果 (pdf、log)が作成され、**ENDフォルダ**に移動するので確認します

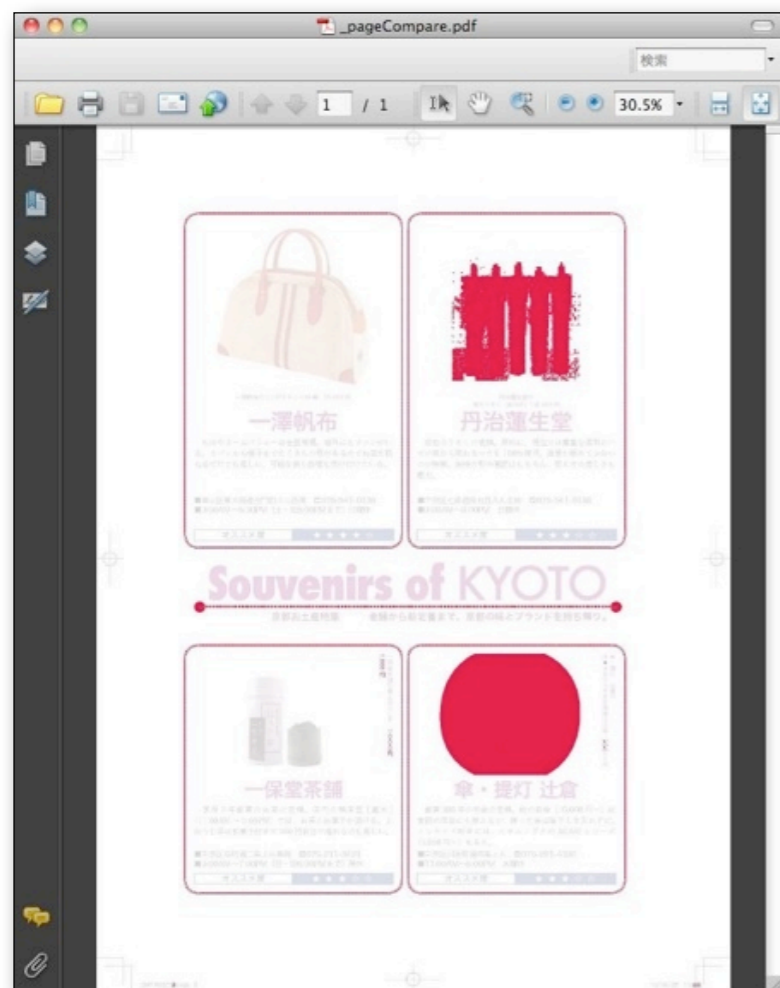


④何らかの理由で処理がエラーとなった場合、**BADフォルダ**に移動するので、エラー内容をlogで確認します

🌀 処理結果① 比較PDF・他

投入フォルダの中に比較PDF、_PageCompare.pdfとlog.txtが作成されます。

※特定Word機能による (p11) 処理結果「AORI」使用の場合 index.htmlとgif、jqueryフォルダも作成されます。

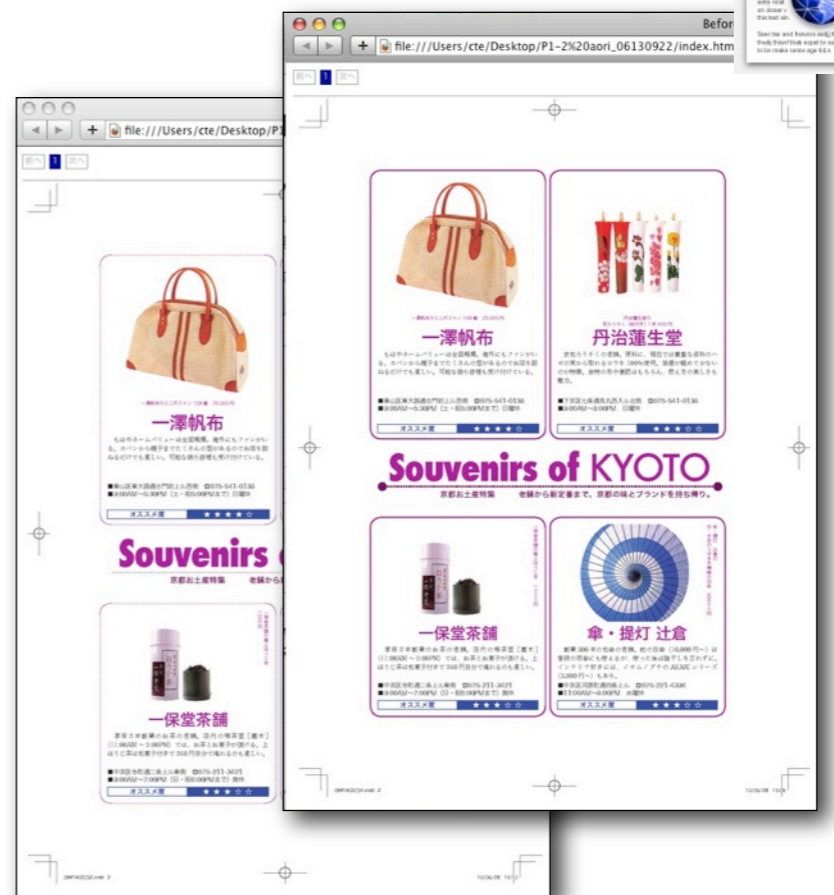


_pageCompare.pdf



log.txt

◎AORI機能使用の場合



index.html



xxxpdf-000001.ppm.jpg.gif



Jquery

・ 処理結果② ログ

処理ログは、投入フォルダの中に log.txt が作成されます。

◎通常logの場合

◎log.txt例…2月23日20：26スタート～2月23日20：27エンド

02232026:start	→開始時間（日時：月日時分で表記）
02232026:pdf2img_old_start	→oldフォルダ内のPDFを画像化処理開始
02232026:pdf2img_old_end	→oldフォルダ内のPDFを画像化処理終了
02232026:pdf2img_new_start	→newフォルダ内のPDFを画像化処理開始
02232027:pdf2img_new_end	→newフォルダ内のPDFを画像化処理終了
02232027:compareJPG_start	→画像化ファイル比較処理開始
02232027:compareJPG_end	→画像化ファイル比較処理終了
02232027:jpg2pdf_start	→PDF化開始
02232027:jpg2pdf_end	→PDF化終了
02232027:end	→終了時間

◎ZEROX処理の場合

◎log.txt例…5,9ページがアンマッチの場合

```
06231516:start
06231516:pdf2img_old_start
06231517:pdf2img_old_end
06231517:pdf2img_new_start
06231517:pdf2img_new_end
06231517:compareJPG_start
06231517:マッチング 1ページ=
06231517:マッチング 2ページ=
06231517:マッチング 3ページ=
06231517:マッチング 4ページ=
06231518:アンマッチング 5ページ=44864
06231518:マッチング 6ページ=
06231518:マッチング 7ページ=
06231518:マッチング 8ページ=
06231519:アンマッチング 9ページ=387851
06231519:マッチング 10ページ=
06231519:マッチング 11ページ=
06231519:マッチング 12ページ=
06231519:マッチング 13ページ=
06231519:compareJPG_end
06231519:jpg2pdf_start
06231519:jpg2pdf_end
06231519:end
```

エラー時のメッセージと対応方法

エラー時、次のメッセージを出力します。

Error01:処理フォルダ構成に誤りがあります。

Error02: oldフォルダがありません。

Error03: newフォルダがありません。

Error04: newフォルダ内のファイルが処理型式ではありません。

Error05: oldフォルダ内のファイルが処理型式ではありません。

Error06: new, oldフォルダ内のファイル型式が一致していません。

Error07: 処理対象ファイルに'が含まれています。

新旧のPDFに99%以上の違いがあるため、比較しません。

新旧のPDFの紙面サイズが異なっているので比較しません。

原因不明ですが、画像の比較ができませんでした。申し訳ありません。

使用台数が許可台数を上回っています。

→投入フォルダ構造を確認してください

→oldフォルダは必須です。存在、名称を確認してください

→newフォルダは必須です。存在、名称を確認してください

→処理ファイル形式はpdf、jpg、png、pict、tiffです

→処理ファイル形式はpdf、jpg、png、pict、tiffです

→比較するファイルの形式を一致させてください

→処理ファイルに'があります。削除して再投入してください

→差分が多すぎますので比較しません

→サイズが異なっているので比較しません

→処理出来ない状況が発生したので中断します
もう一度データをご確認の上、お試しください

→弊社サポートまでご連絡ください。

product-support@web-cte.co.jp

🌀 処理結果の自動消去 (サーバ版のみ)

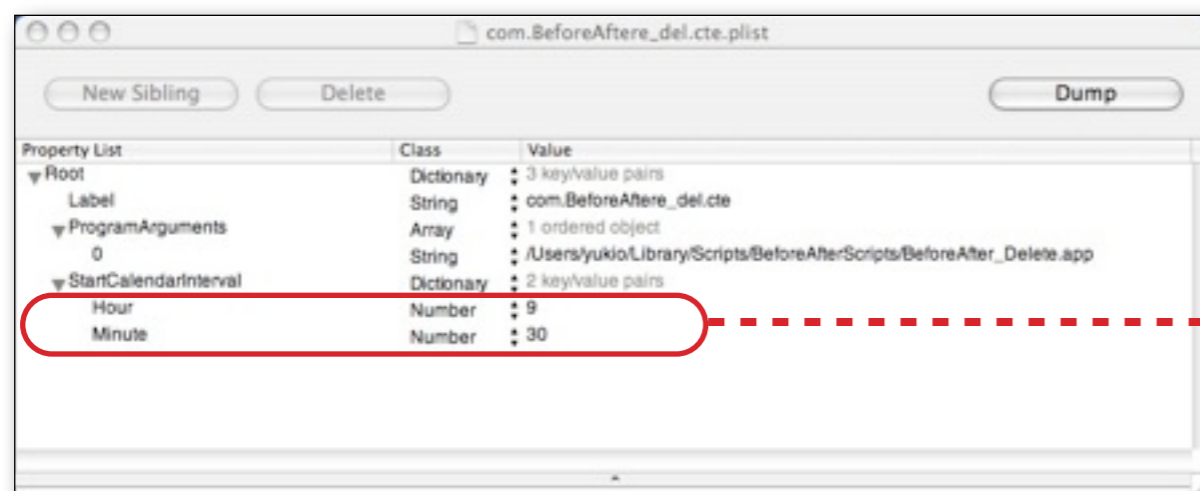
ENDフォルダ内のデータは**毎朝9時30分**にDELETEに移動し、DELETEにある前々日分が自動削除されます。

BADフォルダ内のデータは、自動削除しません。管理者が削除して下さい

自動削除時間の変更方法

ユーザ>管理者ユーザ>ライブラリ>LaunchAgents

フォルダの中にある、com.cte.BeforeAftere_del.plistを開きます。



◎午前9：30の場合
深夜12時の場合は0時となります

HourとMinuteの数字を変更して下さい。

Dump (設定を保存) サーバを再起動しますと設定が有効となります。

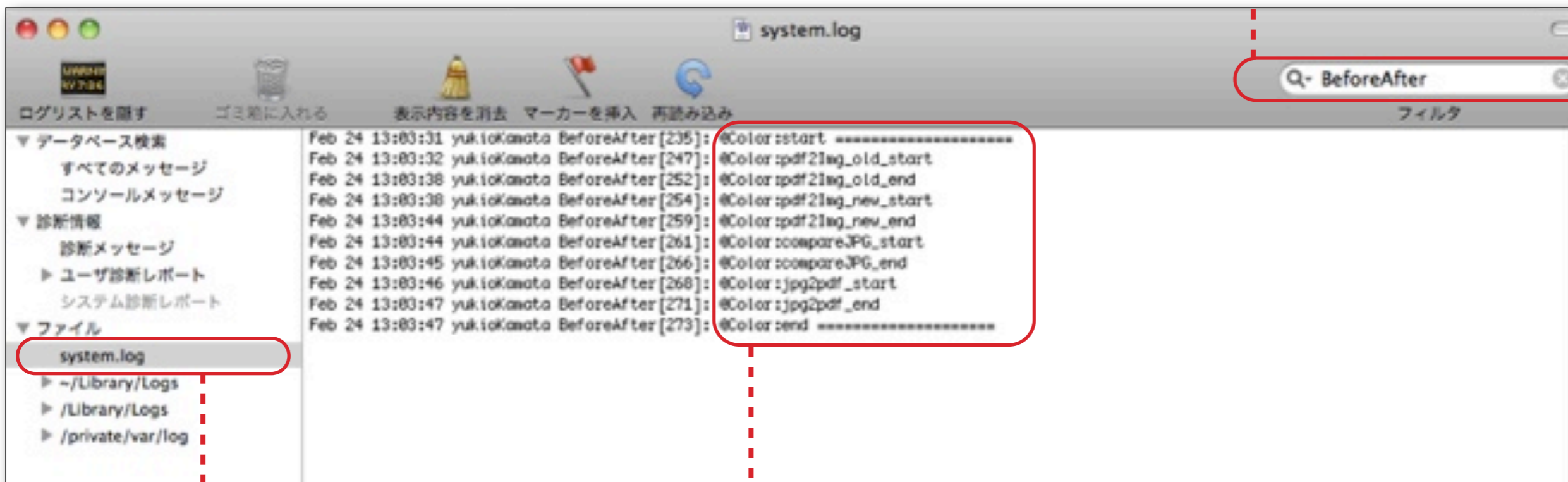
・ 処理状況の表示方法：コンソール起動

比較処理時、サーバ上でコンソールを起動させて処理状況を表示することができます。

アプリケーション > ユーティリティ > コンソールを起動する

※常時起動、表示する場合は初期設定をします。(p7~9 コンソール起動)

※BeforeAfterの処理結果だけに絞りたい場合は、フィルタにBeforeAfterを入力してください



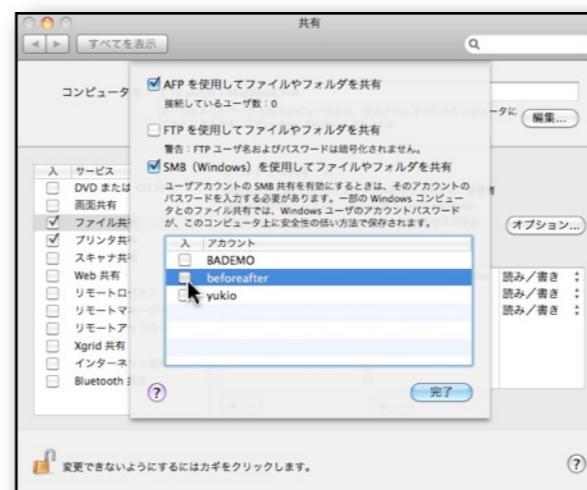
system.logを選択して下さい

@+投入フォルダ名：
logに書出している内容を表示します

Windowsネットワークとの接続方法 (サーバ版のみ)



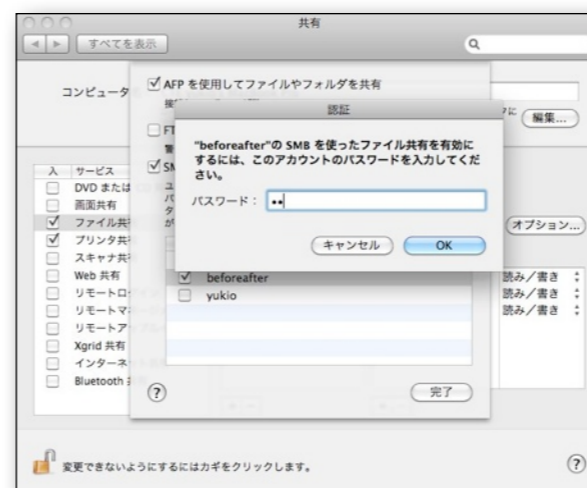
①システム環境設定を開き、「共有」をクリックします



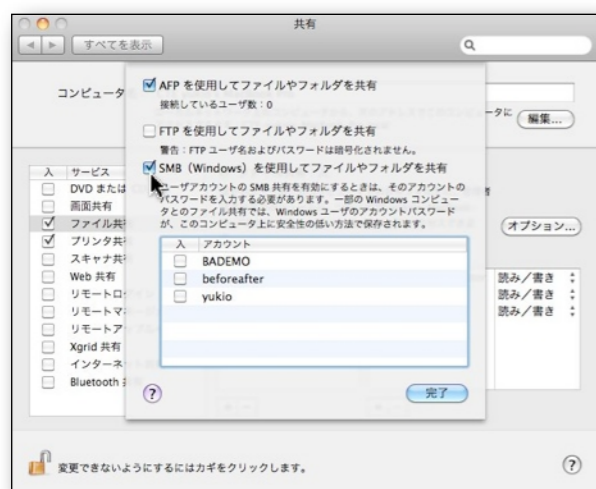
④接続するユーザー「BeforeAfter」にチェックをいれる



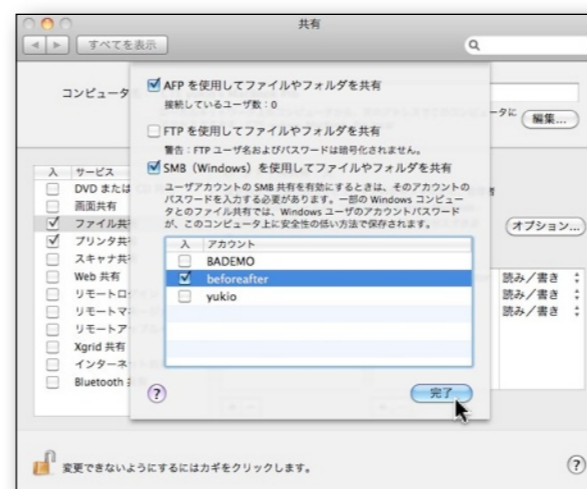
②ファイル共有の共有フォルダで「BeforeAfter」を選択し、「オプション」ボタンを押します



⑤ユーザのパスワードを入力する



③SMB (Windows) を使用してファイルやフォルダを共有にチェックを入れる



⑥完了

🌀 こんな場合の対応方法Q&A (1)

Q： 処理フォルダが、BADフォルダに移動してしまう！

A： log.txtにエラーの内容が書かれています。エラー内容を確認し、エラー対応してから再度投入して下さい。

Q： HOTフォルダに処理フォルダを投入したが、処理が開始されない！

A： コピー中は処理を開始しません。コピー完了までお待ちください。

Q： HOTフォルダへの処理フォルダのコピーは完了しているが、処理が開始されない！

A： システム的な不具合が発生したと考えられます。

HOTフォルダ内のデータを削除し、サーバを再起動後、処理フォルダを再投入してください。

Q： oldフォルダがあるのに、「Error02: oldフォルダがありません」というメッセージでBADフォルダに移動している！

A： 処理フォルダの容量がギガバイトを超えるの場合、ネットワークが混雑している場合、回線容量が細い場合、HOTフォルダへのコピー中に処理が開始される場合があります。

その時は上記のエラーメッセージが出ます。

①処理フォルダの容量を小さくする

②混雑時を回避する

③フォルダ容量チェック間隔を大きくする (BeforeAfter_Confの項をご参照ください)

Q： 機体を変更（初回使用時とは別のMacにインストール）したら、動作しなくなった！

ログに、「使用台数が許可台数を上回っています。」と表示されている。

A： BeforeAfterは使用時に、認証サーバと交信して、機体番号をチェックしています。

機種変更した場合、認証サーバの旧機種の情報を削除する必要があります。

弊社開発部 (Mail : product-support@web-cte.co.jp) に連絡してください。

🌀 こんな場合の対応方法Q&A (2)

Q： 何度もパスワードを求められる！

A1： 5ページのSystemUserPwdで登録していたパスワードが間違っていないかご確認ください。

小文字のエルと大文字のアイは間違い易いです。間違っていた場合は再度、SystemUserPwdをやり直してください。

A2： Mac本体の管理者アカウントにパスワードが設定していたかを確認ください。

22ページを参照し、管理者アカウントにパスワード設定していなければ、登録してください。

そして、SystemUserPwdをやり直してください。

Q： ネットに接続されていないとログに書き出されている！

A： BeforeAfterは使用時に、認証サーバと交信しています。

セキュリティの厳しい環境では外部よりデータ取得に制限がかかっている場合があります。

BeforeAfterが使用しているIPアドレスは、124.146.168.203、ポート番号は443です。

BeforeAfterはプロキシ設定を行っておりません。

OSXのユーザ名とパスワード設定について

BeforeAfterはMacの管理者とパスワード設定していないと正しく動作しません。
右の設定画面で入力する必要があります。

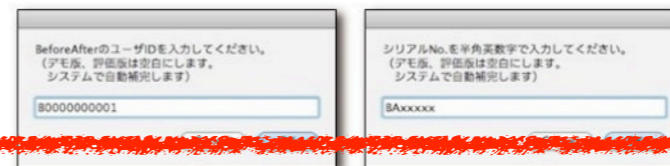
BA SystemUserPwdをダブルクリックします。

下記のダイアログ「ユーザID」「シリアルNo」、「Macのログインユーザ（管理者）」「ログインユーザ（管理者）パスワード」が出ますので入力してください。

1. ユーザIDとシリアル番号を登録します

弊社から通知した、ユーザID、シリアルNoを入力します。

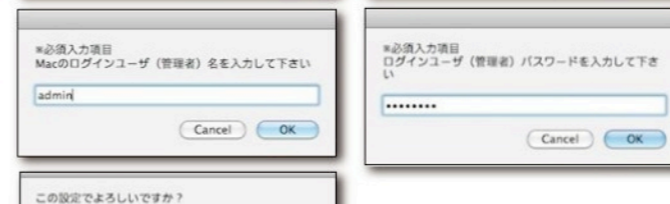
※デモ版、評価版の場合は空白のままにしてください



2. OSXのユーザ名とパスワードを登録します

Macのログインユーザ（管理者）名とログインユーザ（管理者）パスワードを入力します。

※空欄だと動作エラーの原因となります。
アップルメニュー>システム環境設定>アカウント
で事前に設定した上でご入力ください



パスワードを設定するには、管理者ユーザでログインしてください。
システム環境設定で「アカウント」を選びます。

管理者となっていることを確認し、パスワード変更ボタンを押します。

パスワード未設定の場合、古いパスワードは入力せず、新しいパスワードに、設定してください。パスワード変更ボタンを押して登録します。



大変重要ですので、忘れないようお願いいたします。

改訂履歴

- 2010.02.23 …… 新規作成 製品版ユーザマニュアル
- 2010.03.26 …… 構成変更、追記
- 2010.07.16 …… plist名称を修正
- 2010.11.26 …… ユーザ名をbeforeafter、baに変更
- 2011.03.09 …… アプリケーション化に伴う修正
- 2011.06.20 …… 機能追加、個人使用版などに伴う変更
- 2011.08.11 …… アカウント名について追記。誤植修正
- 2011.09.12 …… ファイル名使用不可文字追記
- 2011.11.08 …… QA項目追記
- 2012.01.11 …… ファイル名称順がFinderの名称順と異なることを明記
- 2012.03.28 …… デモ版の利用回数制限を追加

(株)シーティーイー

〒112-0005 東京都文京区水道1-9-1 | & |ビル

Tel : 03-5689-4161 Fax : 03-5803-3381

Mail : product-support@web-cte.co.jp